

## STAGE+を楽しむ(191)(HP 収載)

—セガンのルツェルン音楽祭—

### 1. 始めに

前報(190)に引き続き、STAGE+のセガンのルツェルン音楽祭の演奏の試聴を実施します。

### 2. 試聴音源

今回は STAGE+のセガンのルツェルン音楽祭の演奏を選びました。

収録配信 2024 年 9 月 5 日 3:00

ネゼ＝セガンが指揮するブルックナー7番、ベアトリーチェ・ラナとの共演も  
ルツェルン音楽祭 2024

再配信 2024 年 9 月 5 日 9:00

再配信 2024 年 9 月 5 日 20:00

ルツェルン音楽祭の常連である、若き巨匠ヤニック・ネゼ＝セガンによる 2024 年話題の公演をお届けします。まずはイタリア人ピアニスト、ベアトリーチェ・ラナをソリストに迎えた、クララ・シューマンが若干 13 歳で書き上げたピアノ協奏曲にご注目ください。二人はこの曲について既に、ヨーロッパ室内管弦楽団とのレコーディング (2022 年) や 5 月のベルリンフィル公演などで共演を重ねており、今回も雄弁かつ洞察力に富んだ解釈で他の追随を許さない名演を披露してくれることでしょう。後半は、ブルックナーが辿り着いた精神の叙事詩といえる交響曲第 7 番。手兵モントリオール・メトロポリタン管弦楽団とブルックナー作品を極めたネゼ＝セガンが、精鋭が集まるルツェルン祝祭管弦楽団と、緻密で躍動感溢れる音楽を描き出す様にご期待ください。

ソリスト:

ベアトリーチェ・ラナ (ピアノ)

演奏:

ルツェルン祝祭管弦楽団

指揮:

ヤニック・ネゼ＝セガン

曲目:

クララ・シューマン ピアノ協奏曲イ短調 op. 7

アントン・ブルックナー 交響曲第 7 番ホ長調 WAB 107 (ノーヴァク校訂版)



### 3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。

2024年9月5日 9:00からの再配信を試聴しました。

クララ・シューマンのピアノ協奏曲は、ラナが得意とする曲のようで、セガン指揮ベルリンフィルとの共演を放送ストリーミング情報(2024No.344)で報告しています。女性の作品を女性演奏家が演奏するということで、優しい繊細なピアノイズムが聴けます。アンコール曲はメンデルスゾーンの無言歌でした。



ブルックナーの交響曲第7番は、ブルックナー生誕200年にあたるということで、本年よく演奏されたり、アーカイブ配信されたりするブルックナーの代表作品で、ハイティンクとベルリンフィルとの引退公演のダイレクトカッティングアナログ盤をよく聴いています。ブルックナーらしい爽やかな弱音から重層的で複雑な音の構成の、この曲を配信ながら緻密に表現しておりライブ収録の良さを感じます。



#### 4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用した結果、クララ・シューマンのピアノ協奏曲とブルックナーの交響曲第7番のライブ収録再配信のフレッシュなライブ感を味わえました。

以上